

## (6) 配当政策の状況及び今後の考え方

三井住友フィナンシャルグループにおきましては、業務の再構築、リストラによる経費効率化、不良債権残高の削減や保有株式の圧縮によるバランスシートの改善等を早期に実現することで収益力を強化し、着実に内部留保を蓄積することにより、Tier 資本を質・量共に充実させることを第一義の方針としております。

配当につきましては、内部留保の蓄積を図るために、12年度の6円から、13年度：4円、14年度：3,000円(従来の普通株式1株当たり3円配当に相当)と減配してまいりました。15年度につきましては、14年度と同様、3,000円の配当といたしましたが、グループ収益力を早期に強化し、自己資本の充実に目処を付けた上で、株主重視の考え方に則った配当方針を展望してまいります。

具体的には、16年度の普通株式配当を4,000円とし、17年度以降も毎年度1,000円ずつ増配することを検討してまいります。